

平成 19 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 ジェイ・エスコムホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 丁 廣鎮
 (JASDAQ・コード3779)
 問合せ先 業務管理統括本部兼IR本部
 部長 福蘭 雅士
 (電話 03-3507-6350)

当社子会社の特別損失の発生及び通期業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ

当社は、平成19年4月27日開催の当社取締役会において、当社子会社である株式会社エスコムの教材部門のたな卸在庫の資産価値を再評価し、資産計上額を見直すことを決議いたしました。この結果、平成19年3月期の決算において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたので、その概要をお知らせいたします。

また、平成18年11月22日付けの中間決算発表時に公表しました、平成19年3月期通期業績予想(連結・個別)を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

当社子会社である株式会社エスコムにおきましては、教材部門の事業再構築を行い、代理店販売網の整備とコストの削減を推し進めて参りましたが、教材販売における売上状況及び在庫回転率が低迷を続けております。当社グループでは、このような状況を踏まえ、販売計画及び予算の策定を行った結果、たな卸在庫の資産価値を保守的に再評価を行い、資産計上額を見直すことで、当社グループの財務諸表の健全性を高めることといたしました。

この結果、商品評価損として新たに35百万円を特別損失に計上し、平成19年3月期通期連結決算における特別損失の計上総額が65百万円となる見込みです。

2. 平成19年3月期通期業績予想の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(1) 通期連結業績予想の修正

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	456	△288	△305
今回修正予想(B)	397	△307	△373
増減額(B-A)	△59	△19	△68
増減率(%)	△12.9	—	—

(2) 通期個別業績予想の修正

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	24	△40	△41
今回修正予想(B)	24	△53	△54
増減額(B-A)	0	△13	△13
増減率(%)	0.0	—	—

3. 業績予想修正の理由

(1) 連結業績予想の修正理由

当社グループは、平成18年11月22日の中間決算短信発表時の通期連結業績予想として、売上高456百万円、経常利益△288百万円、当期純利益△305百万円とする公表をいたしました。しかしながら、当社子会社である株式会社インストラクティブの衛星放送事業の通期見通しにつきまして、プラットフォームであるスカイパーフェクTV!の視聴者数全体の伸び悩みやケーブルテレビ局に対する番組配信数が予想を下回り番組視聴料収入が減少いたしました。また、売上減少に伴い会計処理変更による影響額が計画より増加する見込みとなりました。そのため、同事業の売上高が計画より40百万円下回り312百万円となる見込みです。

また、当社の子会社である株式会社エスコムに通期見通しにつきましては、教材部門における事業の再構築を推し進める中で、販売代理店との取引関係を抜本的に見直し、与信管理を強化設定したことから、販売代理店数が予想以上に減少する結果となりました。そのため、販売代理店網を活用した事業全体の売上回復には至らなかったものの、教材販売売上につきましては、概ね計画通りの売上見込みとなりました。

そのため、連結売上高につきましては、前回発表しました予想より59百万円減少する見込みです。

経常利益につきましては、今期より準拠版教科書仕入に関する最低保証契約を解消したことにより、仕入コストの削減を図って参りました。また、リストラを進めたことで販売費削減を図りましたが、売上高の落ち込みを吸収するまでには至りませんでした。そのため、前回発表しました予想より19百万円損失額が増加する見込みです。

当期純利益につきましては、上記の要因に加えて、今回発表しました特別損失の発生により、前回発表しました予想より68百万円損失額が増加する見込みです。

以上の主な要因により、連結売上高397百万円、連結経常利益△307百万円、連結当期純利益△373百万円にそれぞれ修正いたします。

(2) 個別業績予想の修正理由

当社は、平成18年11月22日の中間決算短信発表時の通期個別業績予想として、売上高24百万円、経常利益△40百万円、当期純利益△41百万円とする公表をいたしました。

売上高につきましては、前回発表しました予想に変更なく24百万円を見込んでおります。

販売費及び一般管理費につきましては、臨時株主総会費用の発生並びにストック・オプション等に関する会計基準の適用により、費用計上額が増加する見込みとなりました。

その結果、経常利益及び当期純利益につきましては、ともに前回発表の予想より13百万円損失額が増加する見込みとなり、経常利益△53百万円、当期純利益△54百万円にそれぞれ修正いたします。

※ 業績予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上